

動物

の

診察室

から

○ 45 ○

現在、私の病院にいるわんこたちは11匹で、高齢になった猫たちもいます。そんな子たちは、みんなと分かれて病院の入院室で過ごしています。

犬たちは、現在私の家に3匹います。

9歳の女の子、ミニチュアダックスの「ビッピ」は、とても性格が良く誰に触られても大丈夫です。そのため、新潟市動物愛護協会で行っている

シタのコスチュームを着て参加し、好評です。チワワの「ちゃちゃ」

は、小さいときに母親の歯が目当たり、角膜が破裂してしまいました。そのために私が飼うこと

になったのですが、結局右目はだめになり摘出して片目だけになってしまいました。

## 病院の子たち

(下)

# 訪問活動や輸血に協力



わが家のわんこたち

そのあとにやってきた小梅ちゃんは小柄で、モロちゃんがあまりにも大きかったため、とても小さく感じられました。そのため、ついた名前は小梅ちゃんです。

現在50歳

で、前足をあげて後ろ足で立つと私の背

もちろん普段はベッドとして家で私と暮らしています

ですが、緊急輸血の際には、病院で献血をします。

小梅ちゃんの前にも同じ種類のウルフハウンドを飼っていました。名前

はものけ姫にでてる「モロ」のように大きかったので「モロちゃん」

でした。大型犬は寿命が短く、モロちゃんも8歳で死んでしまいました。

犬の血液型もいろいろな分け方がありますが、輸血をする場合に一番大事な血液型の分類がDEA (犬赤血球抗原) システムの1です。DEA I が(一)の血液は(十)の犬にも輸血ができません。

今は、こんなわん子たちと一緒に暮らす毎日です。

以前はビッピと一緒に動物病院では、輸血が必要な場合が多くあります。ダックスや柴犬から、30歳もあるゴールデンに輸血はできません。そのため大型犬にも献血ができる大きな犬で、ほと

小学校や、老人ホームへ動物と一緒に訪問する活動には毎回参加して活躍しています。

老人ホームでは、入居者の方の膝の上に仰向け

になって抱かれて、いつまでもおなかをさすってもらっています。小学校へは、クリスマスにはサ